

電圧電流不平衡測定装置

最近、交流電力システムの安定化への対応の一環として、電力システムに対する総合的な測定が行われるようになった。その中で電圧、電流の正相分、逆相分、不平衡率の測定も一手段として多く行われている。従来、不平衡率は、電圧、電流を測定し、その値をもとにして手計算で求められていた。

本装置は、中部電力㈱と共同で開発したもので、電圧、電流を入力して、その実効値を測定すると同時に、それぞれの正相分、逆相分、不平衡率をコンピュータで計算し、記録、表示する装置である。

装置への電圧、電流入力は、変電所の制御盤のPT 2次、CT 2次より直接入力させて測定、計算を行うため、リアルタイムでのデータ収集が可能となっている。しかも、装置のコントロール、データの処理には、マイクロコンピュータ及び専用演算プロセッサを用いているので、一定期間収集したデータの最大、最小値、標準偏差の演算など各種演算、処理が高速に行われる。測定及び計算の結果は、装置のパネル上の表示装置及びプリンタに出力するようになっている。

特長

① 可搬形である。

- ② データの測定は、スイッチによる任意間隔の測定と、一定間隔で連続測定する自動測定との2つの方法を同時あるいはいずれか一方を選択して行うことができる。
- ③ 各種の統計処理、グラフ表示、並びに総合的なデータ表示を高速に行うことができる。
- ④ 各データはPT、CTの1次側換算値で表示することができる。
- ⑤ GP-IBインターフェースを備えており、他の計測システムとの結合が容易である。 (武田記)

■主な仕様

電 源	単相AC100V
消 費 電 力	100VA以下
使 用 条 件	周囲温度 0～40℃
	相対湿度 30～80% RH
入 力	電圧 3相2チャンネル
	電流 3相6チャンネル
絶 縁 抵 抗	DC500Vメガー 10MΩ以上 (入力端子-ケース間)
絶 縁 耐 力	商用周波耐電圧 AC2000V 1分間 (入力端子-ケース間)
	雷インパルス耐電圧 4000V(1.2/50μs)

